

# 建設発生土の搬入注意事項 及び受入可否の判断について（お願い）

1. 搬入者は、含水比の高い土を持ち込む際、バッキや良質土との混合など、必要な対策を行ったうえで持ち込んでください。
2. ダンプ運搬時の流動化、降雨による含水比増により、搬出時と受入時で土の性状に変化が生じるので十分注意してください。
3. 建設発生土の受入可否の判断について、搬出現場における性状・コーン指数にかかわらず、事業所において受入者が行います。（判断方法は、下記の「土質確認方法」により行います。）

## <土質確認方法>

- 1次確認：①目視、②受入者が踏んで確認。その結果、問題あるもののみ2次確認へ。
- 2次確認：③コーン試験を実施。300kN/m<sup>2</sup>以上が確認できれば受入。300kN/m<sup>2</sup>未満のものは受入拒否とします。

なお、③の受試験方法は次のとおりとします。

### 【確認方法】

受入箇所地盤に、縦横 2.0m 程度、深さ 1.0m 程度の穴を掘り、概ね 50cm 程度の搬入土を敷き均し、バックホウのバケットで5秒/回程度締め固め、その後、コーン試験を実施します。

なお、締め固め回数は、土質により受入者が判断することとするが、異議のある場合は、搬入者、受入者双方で協議の上、決定することとします。